

校長室より

二松学舎大学附属高等学校

校長 鶴飼教之

## 「二松から飛翔へ」～一期一会～

## 学年末考査 ～「松ぼっくり」学びの熱気～

1・2年生は、3日から学年末考査が始まります。1年間の総まとめとなる大切な試験です。日々の積み重ねが問われるこの機会に、自分の成長を確かめるつもりで、最後まで粘り強く取り組んでほしいと思います。

放課後、校内を回ってみると、「松ぼっくり」では多くの生徒が机に向かっていました。大学生メンターの丁寧な解説に真剣に耳を傾ける姿、友人同士で問題を出し合いながら理解を深める姿、一心不乱にノートを見つめて暗記に励む姿。それぞれの方法で、学びと向き合っています。

もちろん、時には小さな休憩も必要です。笑顔で一息つき、また机に向かう。そのメリハリもまた大切な力でしょう。試験は点数だけが目的ではありません。努力する過程そのものが、皆さんを一段と成長させます。自分を信じて、最後まであきらめないこと。教室に広がるこの前向きな空気が、良い結果につながることを願っています。

がんばれ、二松生。



## 学習成果発表会 ～1年生 芸術科目の一年～

1年生の芸術科担当の先生方から「ぜひ学習成果をご覧ください」とお声がけいただき、6階の発表会場を訪れました。

美術室や図書室には、この1年間に制作された多彩な作品が並び、それぞれの個性が豊かに表現されていました。色彩の工夫、構図への挑戦、テーマに込められた思い。作品の前に立つと、生徒一人ひとりの試行錯誤や成長の跡が伝わってきます。音楽室では、合唱の披露が行われていました。声を合わせることの難しさと楽しさを経験しながら築いてきたハーモニーは、聴く者の心を温かく包み込みます。CUPSでは、独創的なリズムを紹介してくれました。仲間とともに一つの作品を創り上げる喜びを感じます。

互いの成果を「鑑賞」すること、そして率直な感想や評価を伝え合うことも、学びの大切な一部です。他者の表現に触れることで、自分の世界もまた広がっていきます。

芸術科目の学びは、技術の習得にとどまらず、感じる心や伝える力を育てます。この1年間の積み重ね



を自信に、これからも豊かな感性を磨き続けてほしいと願っています。

## 挨拶してですか ～おはようカウンター～

久しぶりに「おはようカウンター」の報告です。

2月の最終日は3年生の登校日でもあり、玄関前は朝からいつにも増して賑やかでした。その日のカウンターは「604」を示し、久しぶりに大台に乗りました。

思えば、厳冬の頃は身を切るような寒さの中、ポケットに手を入れ、肩をすくめながら登校する姿も見られました。しかし、ここにきて寒さもやや和らぎ、春の足音が少しずつ近づいているように感じられます。冷たい空気の中では少し固くなっていた「おはよう」の一言も柔らかさを帯びてきました。

朝の挨拶から始まる学校生活。元気な「おはよう」を交わしながら、気持ちのよい一日をスタートさせましょう。

